|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | フィジカルアセスメント  演習 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間 | |
| 担 当 者 | 近藤　大作  (臨床経験23年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | １学期 | |
| 目的 | フィジカルアセスメントを用いた看護の実践ができるための方法を学ぶ。 | | | | | |
| 科目目標 | １．看護におけるフィジカルアセスメントの意義が理解できる。  ２．フィジカルアセスメントに必要な基礎的知識と系統的フィジカルアセスメント  の視点が理解できる  ３．フィジカルイグザミネーションの方法が理解できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | | | | | 方法 |
| 1回  2回  3回  4回  5回  6回  7回  8回  9回  10回  11～13回  14回  15回 | １．フィジカルアセスメントに必要な基礎知識  　１）ヘルスアセスメントとは　２）フィジカルアセスメントとは  　３）フィジカルイグザミネーションとは  ２．フィジカルアセスメントに共通する技術  （問診、視診、触診、打診、聴診）  ３．バイタルサインの測定  ４．呼吸器系のフィジカルアセスメント  　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション  ３）アセスメントの視点  ５．循環器系のフィジカルアセスメント  　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション  ３）アセスメントの視点  ６．呼吸器系･循環器系のフィジカルアセスメント  ７．呼吸器系･循環器系のフィジカルアセスメント  ８．消化器系のフィジカルアセスメント  １）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション  ３）アセスメントの視点  ９．筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント  　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション  ３）アセスメントの視点  10．事例検討  １）事例から必要な情報および必要なフィジカルイグザミネー  ションを考える（個人ワーク）  11．事例検討  １）事例に対するフィジカルイグザミネーションの実際  12．事例検討  　１）得られた情報をアセスメントして看護を考える  13．終了試験（45分）　まとめ（45分） | | | | | 講義  講義・演習  講義・演習  講義・演習  講義・演習  演習  演習・事例検討  講義・演習  講義・演習  演習  （事例検討）  演習  演習  グループワーク |
| 准看時  授業内容 | 基礎看護技術 | | | | | |
| 教科書  参考書 | 教科書：『はじめてのフィジカルアセスメント』メヂカルフレンド社  　　　　『系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔２〕基礎看護技術Ⅰ』医学書院 | | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験、学習態度 | | | | | |
| 関連科目 | 解剖生理学、病態生理・病理学、疾病と治療Ⅰ～Ⅳ | | | | | |
| 備考 | 目的をもった患者観察が行えるために、フィジカルイグザミネーションをどのように用いるのか、また、イグザミネーションから得られた情報をどのようにアセスメントし、看護実践につなげていくのか演習を通して理解を深めていきましょう。 | | | | | |